

所 属・職 位	医学部医学科腎泌尿器外科学講座・教授	
氏 名	秦 聡孝 (Shin Toshitaka)	
取 得 学 位	博士 (医学)、大分大学、2005年3月	
SDGs 目標		

研 究 分 野	泌尿器科学
研究キーワード	泌尿器腫瘍学、低侵襲手術、画像融合技術、再生医療
研 究 内 容	< 基礎研究 > ●前立腺癌細胞における前立腺特異抗原(PSA)の転写調節機構の解明 PSAの近位プロモーター領域にはSp1/SP3の結合部位が4カ所あり、そのいずれもが転写活性の上昇に関与しており、もっとも近位側の結合部位が最重要であることを解明した (論文1)。 ●再生医療を見据えた外尿道括約筋の幹細胞である衛星細胞の機能解析 当教室では、これまでに外尿道括約筋の幹細胞である衛星細胞の分離培養・長寿化法などを確立した。今後も尿失禁の病態解明、さらには再生医療への応用へ向けた研究を推進する。 < 臨床研究 > ●前立腺癌のMRIとMRI/US画像融合下生検に関する研究 MRI/US画像融合技術を用いた前立腺狙撃生検の精度やその臨床的意義、発展的活用法についての研究を行っている。正確な局在診断に基づいた世界初の3Dプリントモデルの開発やロボット手術への応用にも取り組んでいる (論文2, 3, 4、受賞2)。 ●単孔式・減孔式泌尿器腹腔鏡手術の開発 当科が本邦で先駆的に開始した単孔式・減孔式手術は整容性に優れた術式である。本術式では、いかに挿入する鉗子の数を減らすかに工夫が必要であり、われわれは新たなinternal retractorを用いた手技を泌尿器科領域ではじめて報告した (受賞1)。 ●ロボット支援腹腔鏡下手術における新たな術式の開発 ロボット支援膀胱全摘除術後の尿路変向法である回腸導管造設術において、「Early pull out technique」と名付けた新たな完全体腔内での手技を開発した (論文5)。
研 究 業 績・アピールポイント	●論文 2005年、Shin T et al. Arch Biochem Biophys. 435: 291-302. 2016年、Shin T et al. Eur Urol. 69: 377-379. 2017年、Shin T et al. BJU Int. 120: 233-238. 2018年、Shin T et al. BJU Int. 121: 77-83. 2021年、Shin T et al. Int J Urol. 28: 778-779. ●受賞 2012年、30th World Congress of Endourology and SWL (WCE): Olympus Best Paper Award (Best New Innovation Paper) 2016年、The American Urological Association (AUA) 2016 Annual Meeting: AUA 2016 Best Poster